

認知症利用者の現状 対応について

らぽーる新潟 楽しいちデイサービス
岡本 佳子

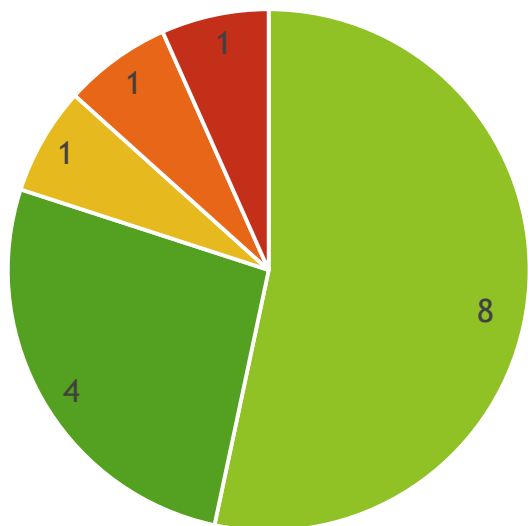
楽しいちデイサービス

＊部門目標方針＊

認知症利用者の理解を深める

楽しいち利用者の認知症率

服薬率



- アリセプト (ドネペジル)
- メマリー (メマンチン)
- レミニール (ガラントシン)
- リバスタッチ (イクセロンパッチ)
- 処方なし

* 楽しいち利用者数 152名

認知症または認知症薬を服用している方 15名

アルツハイマー型認知症 3名

レビー小体型認知症 1名

認知症と診断された方 3名

診断無しで服用されている方 8名

薬の種類と特長

分類	名称	適応				剤形	使用回数
		アルツハイマー型認知症			レビー小体 型認知症		
		軽度	中等度	高度			
アセチルコリンエス テラーゼ阻害薬	アリセプト (ドネペジル塩酸 塩)	○	○	○	○	内服	1日1回
	レミニール (ガランタミン)	○	○			内服	1日2回
	リバスタッチパッチ/イクセロ ンパッチ (リバスチグミン)	○	○			貼付剤	1日1回
NMDA受容体拮抗薬	メマリー (メマンチン)		○	○		内服	1日1回

参考文献・・・認知症ねっとより

症例 A様 82歳 要介護4

✿アルツハイマー型認知症 (平成27年1月頃より)

✿服薬・・・アリセプトD錠・マグミット錠・ウレパールローション

家族構成・・・奥様 息子様夫婦 孫二人

畜産の獣医。真面目を絵にかいた様な性格。

平成20年頃より認知症状出現。

怒りっぽい性格であったがぼんやりする様になった。

徘徊の様な症状がみられるようになった。

トイレ介助が必要になり、転倒も増えた。

平成26年の夏頃より言葉が出にくくなり、長い文章の理解が難しくなる。

平成27年1月早朝、屋外で転倒、救急搬送。

MRI施行、海馬に萎縮がみられた。

* A様 問題点 対応策 *

✿ 帰宅願望が強い
(玄関へ向かう)



落ち着けるような声かけを行う。



席に戻り落ち着く

✿ 入浴誘導に拒否がある



1. 別の職員が誘いに行く
2. 時間をおいてから誘う



入浴する

✿食事、水分摂取でムセる



池浦STに評価してもらう



1. 嚥下しているか確認する
2. 水分にトロミをつける
3. 柔らかか食へ変更する



ムセる回数が以前より減った

✿食事が進まない



別室にて職員見守りで
昼食をとる



集中して昼食を食べる

✿ 口腔ケア時、うがいが出来ず
飲み込みムセてしまう



1. 嚥下体操（空嚥下）
2. うがいの練習
3. 空咳の練習



うがいができるようになった

✿急に立ち上がり、転倒する



見えやすい席に移動、見守りを行う



いつの間にか席で転倒している



トイレ誘導を行う



急な立ち上がりはみられなくなった

✿考察✿

- * 上手くいく時もあれば、いかない時もある
- * 関わる職員によって反応も変わる

ご清聴ありがとうございました。